

蕭山經濟技術開發區

午前は、蕭山經濟技術開發區管理委員會を訪問し、周副主任から開發區の状況について説明を受けた。

この開發區は1993年5月、國務院の許可を受け國家級レベルの開發區である。外國投資企業数は464社（うち日系企業数43社：静岡工業団地がある）、国内企業300社で総投資額は54.2億ドルとなっている。自動車部品、アパレル関連の企業が多いとのこと。



蕭山太陽機器有限公司

その後、日系企業（大阪守口市）である蕭山太陽機械有限公司を訪問し、田中総経理から工場内部の紹介と説明を受けた後、会議室で一行からの各種質問に対し回答をして頂いた。

蕭山太陽機械有限公司は大手家電メーカーや半導体メーカーを顧客として、生産工程で必要な専用装置のOEM生産やオーダーメイド生産などの実績がある会社である。その中で中国の会社は設立して10年経過しているが、FAのトータルシステムの開発設計からアフターサービスまでの一貫生産を行っており、敷地内には5棟の工場を有し100台を超える工作機械設備を持っている。日本向けは生産量の90%である。

田中総経理の信条は、世界に通用するエンジニアを中国で育てることであり、従業員からの信望もかなり厚い。300名の従業員のなかで1/4は日本語が話せるとのこと。参謀役としての王さん（女性）は、田中総経理からかなり信望がある。彼女はまもなく産休に入るとか。



やがて昼食となり、開發區にある「群樂飯店」で農村料理を頂いた。昼食にしてはかなりの種類が出てきて、且つボリュームも多く一行はびっくりであった。満腹状態でこの飯店を後にして、次の訪問先へ向かった。

